

【第17回なかの保育園三者懇談会】

- ◆ 日時 平成22年2月13日（土） 10時から
- ◆ 場所 なかの保育園
- ◆ 出席者 なかの保育園保護者14人
- ◆ 内容
 - 保 ⇒ 保護者
 - 市 ⇒ 市役所
 - な ⇒ なかの保育園

市 今回は第17回目のなかの保育園の三者懇談会となる。

課長あいさつ，市役所出席職員紹介

市 では早速ですが，なかの保育園保護者アンケート集計結果を説明させていただく。

なかの保育園保護者アンケート集計結果に基づいて説明

市 では今のアンケート結果を受けて園の方から説明をお願いします。

な 今回のアンケートによって，良いと思うところ，またもっと頑張ってもらいたいと思われていることについて分かった。

その中で内容が伝わっていないと思われるところもあるので，それについて話す。

1年間の引継保育の中で6人が携わった。その間三者懇談会は続けてきたが，新しい園の行事の計画や呼び名の変更などについては，役員会を通して協議をして決定し，取り組んできた。決して園で勝手に決めてきた訳ではないことをご理解いただきたい。

ひとつは保育参観の方法であるが，以前は集団での参観日設定であったが役員会に困ったところ，ありのままの現状が見られるような参観日が良いということになり，前期は以前と同じ集団での参観とし，後期は個別で保護者の都合の良い日とした。給食なども食でていただき，ゆっくりと個別面談ができるような形態で行うことを了承していただいた。

また，在園記録などの綴ったものをお見せして面談の資料として活用し，担任も交えお互い納得する話し合いができるよう心がけている。

保育参観を通して少しずつ理解を示してくれる人がいるということは，園としても嬉しいことと思っている。

細かいことについては，1年間引継保育に携わった主任の方からあとで説明する。

まず大事なことは園で勝手にやっている訳ではなくて，保護者会役員会に困ってや

っている。ただその決まったことについて、他の保護者の方々に周知徹底を怠ったものが誤解を生んでしまった。今後は周知方法も含めてどういう方法が良いのか協議し検討していきたい。

な 先ほどの問4の外遊びが減ったということについてだが、一番は子どもたちの体調を把握してからということで行っている。未満児と以上児は別々に行うようにした。減ったというご意見ですが、時間的には平成20年度と同じだと思っている。ただ、朝早い時間帯は一旦クラスに集合してからとか、朝の会が終わって職員が揃ってからということにしている。平成20年度は園庭を通過して登園する時に、保護者の方々は園児の遊ぶ姿が目に入っていたもので、今はそれがなくなためか、夕方と同じように園庭を通過することがないので、子どもたちの遊ぶ姿が見れないからそう思うのかもしれない。外遊びの時間は平成20年度と比較して減っていない。

決められた遊びだけ、遊具だけ、また友達と自由に関わりが持てないということには、旧園舎では事情があって固定遊具が使えなかった。夕方になると当番から遊ぶものを指定されて、自分で遊び道具を選べなかった。最近では子どもたちが自由に選べるように何種類かのもを用意しておく。後片付けについても、年齢別に考えて片付けられるような環境設定に心がけるようにした。

食事の時のあいさつがなくなったということは決してない。未満児は担任と一緒にして、以上児は当番が行うようにしている。後期の保育参観にいらしていただきたい。

職員の関係については、増えたということは0歳児が増えてきたため、退職になった職員についてはプライベートの話になるので控えたい。入れ替わりが激しいということは、辞めた職員よりも新しく入った職員が多かったためそう感じたのではないか。産休の職員もいた。子育て経験のある職員が少なく、相談がしにくいというお話だが子育て経験のある職員は24人いる。平成20年度よりかなり多くなっている。遠慮せずにお声をかけて欲しい。職員と保護者のコミュニケーションがうまく取れないというご意見には、夕方の職員が少なくなる時間帯は子どもたちとの関係上、保護者の方とのお話などは厳しいものがある。相談などがあれば、別の時間帯でゆっくりとお話が出来るように前もって連絡いただきたい。

な 今の説明を補足させていただくが、朝夕の子ども的人数、何歳児は何人、何時には何人と状況を常に把握して保育士を配置している。夕方もちろんそのようにしている。夜も8時までには最低2人を守って配置をしている。夕方迎えの保護者が殺到するような時間帯は、それなりに職員を多く配置しているが、限りある職員数では保護者の方とあまり長いお話などは子どもたちに影響を及ぼすことになる。一生懸命従事してはいるが、そんな状況下をコミュニケーションがうまくいかないと思われたのではないか。旧なかの保育園では、この対応についてはうまくいって高い評価を得ていたと思うが、今は一生懸命努力しているが、皆さんの評価がそうであれば一人一人がこれからもより一

層の努力をしなければならないと思う。お話をしないということではない。前もって別な時間帯を予定してお話をするということであれば、いつでもお話や相談には対応する。給食の方は分量が減ったのではないかという質問ですが、魚と肉などについては30グラムから40グラムとしている。厨房の鍋で春先の味噌汁は25リットルでしたが、今では32リットル作っている。以前は仕切りのない器におかずが混じった状態だったので容器を仕切りのある大きなものにした。そのため減ったように感じたのではないか。今後は容器をもう一つ増やして2個の容器を使用しようと考えている。食材については取り扱い業者に変更はない。地元のものを使うようにとのことで気は使っているが、冬場の時期などは、他県のものに頼らざるを得ないこともある。そういうときには掲示板に記載し皆さんにお知らせすることになっている。

市 それではただ今から意見交換に入る。

保 盛岡市の方にお伺いするが、アンケートを取った結果変わった変わらないなど必ず意見は分かれると思う。どこをどのような目的に使うのか。悪かったと出たところを園側に指導、訂正させるために使うのか。あるいは、次の第2次民営化のための資料として使うのか。盛岡市としてこの事例をなかの保育園のためだけに使うのか。また持ち帰って民営化の資料として役立てるためのものか。どういう風に活用されていくのか分からなければ三者懇談会という意味にはならないと思う。民営化になれば良いもこと悪いもこと必ず出てくる。それを今更返せ、戻せということではない。盛岡市としてみればこの1年間の変化、また準備段階から言えば2年半以上の引き継ぎのあり方というものをごくまで理解して、何をどのように感じているのか。事務的な書類だけではなくて、今担当している職員としてはどう思っているか伺いたい。

市 4月から週に1度この園を訪問してきた。日中ではあるが園長、主任とお話をし、子どもの様子を見させていただいてきた。アンケートは、私の方から園を通じて保護者の方をお願いをし、結果が出たものである。集計結果だが第2次の参考資料とするのではなくて、なかの保育園が今後より良い保育がなされるよう参考とする資料である。移管されたということもあり、その内容も含めた問いになっているが、あくまでなかの保育園の今後役に立てるためのものである。

市 今会長さんからご質問があったが、二つの説明があると思う。このアンケートでなかの保育園のことで改善できることがあれば取り組んでいただくのが一つで、二つ目は今第2次の民営化を発表したところなので、保護者の声、意見をこの第2次に生かさせていただくということが考えられる。

保 であれば今現状で、園長や主任に改善を求めなければならないようなものがあるのか。

市 たとえば、保育の内容が変わったということ、外遊びが少なくなったという項目のところ、実際には園ではこのようにやっているのに保護者への情報の周知が足りないことで、周知徹底するための改善策など。あるいは、給食についてもコミュニケーション

を図る必要がありそうだ。現時点ではこの2点について園の方とお話をしなければと感じている。

保 今までの三者懇談会は2, 3人程度の参加しかなかったが、今日は多数の方が出席されている。これだけ興味を持っている保護者がいる。園の訪問は日中だけでなく、夕方来て見ていただきたいとお願いをしたが、今までお会いしたことがない。夕方は来なかったのか。

また、6月から今まで懇談会が行われなかった経緯を伺いたい。また、津志田保育園、なかの保育園と移管した成果はどのくらい出ているのか。これからも民営化を進めていくのであればそれがどれくらいの効果があるのか、保護者として市民として知っておきたいと思う。

市 一週間に1日訪問しているが、日中だけでなく夕方様子を見て欲しいと言われたことについては、実際何日か夕方に来て見ているが、回数が少なかったためか、多くの保護者の方とはお会いすることが出来なかった。これからは夕方の回数を増やして、多くの保護者の方とのお話できるよう努める。また、皆さんからのご意見などを園長、主任と引き続き協議していく。

6月に三者懇談会を行い、今回のアンケート結果にもそのときと同じような内容の意見などが見られるが、全く変わっていないという認識を私は持っていない。懇談会の後で園長に改善点などの話をしてきたが、同様の指摘内容が出ているということは、結果的に私どもの努力が足りなかったためと判断する。今後とも盛岡市と園とで話し合い努力していく。

市 あとは成果をどう捉えて生かしていくのかということについては、保育所だけではなく、子育てに関するもの、あるいは学童クラブ、健全育成等にも盛岡市として答えていかなければならない。単純に経費削減という考えだけではなく、各分野にわたった財源措置を確保する。待機児童をなくする努力はしなければならない。定員拡大を考えると施設整備が必要となるが、市立は国からの補助金が出ない。私立であれば国からの補助金が得られるというメリットがある。このようなことから私立にも協力を呼びかけて、そういう支援を通して市民のニーズに応じていく。子育て支援センターとして大通りにつどいの広場があるが、来年はもう1カ所増やし、子育てに悩む方々の相談の場、子育ての支援センターとして広く皆さまの役に立てていきたい。盛岡市とすればこのような形で成果が生かされていくものと考えている。

保 役所の方が園に訪問してくる日時を予め保護者が分かるようにして欲しい。また保護者に対してアピールが足りない。

市 このことについては、保護者の皆さんにどのように知らせるか、どのようにアピールするか園と相談する。

保 園の訪問の際は、各クラスを回って見て保護者に声をかけていただきたい。時間に合

わせてすぐ帰るのではなく、朝でも夕方でも訪問していただくよう柔軟な対応でお願いしたい。

市 はい分かりました。そういう方向での対応を考えさせていただく。

保 給食は全員で「いただきます」をしているが、おやつのはばらばらで起きた順に食べていると聞いたがその件についてはどうか。

な 給食と同じようにみんなで一緒に「いただきます」をして組ごとに食べている。

保 起きた順序でのグループではなかったのか。

な 今は子どもたちも慣れてきたので、みんな一緒に行動できるようになってきている。

保 連絡帳について、子どもの状態や感染症の疑いが懸念されるようなときは夕方迎えに行ったときにはっきりと口頭で伝えるか連絡帳に記入してもらいたい。医師の診断を受けてからでないと登園は無理だと朝いきなり言われても困る。

な 感染症が拡大した時のことか。熱が出た時のことか。

保 目がはれて普段から目薬を投与していたが、夕方迎えに行ったときは保育士から、「ちょっと目がはれてますよ」と言われたがそのままにして、次の朝登園したら保育士に「病院に行ってもらわなくては困る」と言われた。状態が分かっているのなら前の日に言ってくれば病院に行く時間は取れるのに朝では無理だった。こんなことが2、3回あった。

な 今すぐ見てもらわなくては困るという言い方はしないと思うが、今時点ではこういう状態であることは日中に連絡させていただいたと思う。どうしても仕事の都合がつかないときは、病時保育というのもあって看護師が世話をすることも出来るが、病院ではないのでいつまでもという訳にはいかない。集団生活なので、他の子どもに感染する危険はないと医師が判断すれば安心であるということである。

保 前の日に分かっているのであれば、次の朝ではなく前の日に言って欲しいということである。

保 それは多分教えて欲しいということではないか。子育て経験のあるものであれば大体の予想はつくものだが、未経験だとすれば分からないのではないか。「この状態であればもしかしてこういうことが考えられて、明日お預かりできないことも予想されるので、早めに医師の診察を受けた方がいいですよ」という一言が欲しかったのではないか。

保 病院へ行って確認を取ってくださいと言ってもらえば朝の段階で行動が取れる。連れて行ったときに言われたのでは仕事を持っている立場からは非常に厳しく無理である。

な 夕方にその状況を見て、こういう状況だからもしかしてもっとひどくなるかもしれないのでというお話が必要だ。本来は連絡帳でだが口頭でも良いと言っているので分かり易くはっきりお伝えする。

保 平成21度の4月からお世話になっている。後期の保育参観について、先ほど先生の方からお話がありましたが期間が長すぎないでしょうか。

今まで何人ぐらいが訪れたのか知りたい。

な 今までだと後期の参観者は十数人である。

保 前のなかの保育園であれば期間を決めて、その期間の中で都合の良い日に行けて同じクラスの保護者の方と会って話ができたりした。今回は期間が長かったこともあって、私はまだ参加していない。これから参加しようと思っているところである。

な じっくりとお話をするためには個別の方がし易い。期間を決めてということも検討したが、こちらから決めてしまうとその日程に合わない保護者は欠席となってしまう。保護者の都合に合わせたやり方が良いと思っている。

保 認証システムで入っているので、出席確認の丸付けは不要ではないか。重複してチェックする必要があるのか。

な 施設が新しくなって認証システムを導入した。出席確認表は不要と思ったが引き継ぎの関係もあるので平成 21 年度はそのままにしている。

な 気が付いたことをすぐにアピールできるような方法を今考えている。出席確認表については、他の方からも意見が出ておりまして、止め時を悩んでいたところだ。今の意見も合わせて考えていく。

な 朝の記入漏れはクラス担任などが把握しているのでよいとしても、帰りの確認表は付けていただかないと延長扱いになる危険性があるので気を付けて欲しい。

保 民営移管前からいるが、今の保育園に満足している。ひとつ伺いたいことは職員が多くなったことで人件費が増えたと思う。保育料の未払い、滞納はなかったか。経理上は問題ないのか。

市 保育料は市の方に納めてもらうシステムであり私立に直接入ることはない。運営が厳しくなるということはない。

市 0 歳児であれば、子ども 3 人に 1 人の保育士が必要である。1 歳、2 歳は 6 人に 1 人、3 歳だと 20 人とか最低基準は決められている。0 歳児 1 人に盛岡市から支払う金額は他の子どもより高くなる。0 歳児が多くなったから苦しくなるということはない。

市 それでも滞納する方は 0 人ではないので、納めていただくように保育園の協力をいただきながら努力している。

保 平成 21 年度の 4 月から入所しているので、前のなかの保育園の様子は分からないが、他の保育園にいたことがあるのでそちらの方と比較してみて思ったことがある。それはこの園は雰囲気良くない。先生方は頑張っていると思うけれどなにか温かみを感じられない。それが何かは私も分からないが前の保育園の方が良かったように思える。連絡帳が手書きからパソコンに変わったということになにか理由があるものなのか。

な 先に園長から説明があったように、様々な書類上で園に保管しておかなければならないものと、皆さまに配布するチラシなどを区別しながら管理していくためにパソコン処理となったものである。保育参観などで個別にお話するときの資料として役にも立てる。

な 0歳児から卒園するまでの子どもに関する記録を保管しておくためにもパソコン処理が必要となってきた。保育指針の改訂などにより、学校との連携を図るためにより必要とする。保育参観のときなどに声をかけていただければそのデータを保護者の方にお見せできる。

な 雰囲気の部分については、保護者の方が感じられるのは職員の態度や接する姿勢ではないかと考える。今後一人一人が自分を見直し努力するよう徹底する。

保 今の先生方はかわいそうに見える。こうしなければならぬとか、そうしなければならぬと保護者の要望対応に過剰敏感になり過ぎてはいないか。自分本来の持ち味を出せないままにしていることで、ゆとりがないというか余裕がないというかぎこちない現状になっていると思う。

保 先生方も保護者の言うことだけを聞くのではなく、親がおかしいそぶりのときは注意や意見をして良いと思う。親も間違っているということが沢山あると思うので構わないのではないか。それこそコミュニケーションだと思う。この辺が保護者と先生方との普通の会話に発展する糸口だと思う。

保 子供たちが増えていくなかで先生方も増えているようだ。先生方の勉強会というか研修会などはやっているのか。

な 研修会は積極的に行っている。時には保護者の方にも参加していただき、今回も27日に大学講師をお招きして研修会を予定している。もし都合が付けば保護者の方もご参加下さい。

保 保育園が決定するまでかなりの時間を要した。しかも第6希望でやっとのことだった。待機児童がいっぱいいるのは分かっている。仕事をしてなければ保育園に入れぬ。この点を改善して欲しい。

結局仕事が決まらなければ保育園に入れぬ。保育園が決らなければ仕事が決まらない。ただでさえ就職が厳しい状況なので是非とも改善して欲しい。

市 今盛岡市としてもここ数年間で700人から800人定員を増やしてきた。またここ1、2年で200人から300人の定員増を計っていく。

だが今の話のように仕事を探しながら、保育園入所希望の方も増えてきていることも事実である。ひとつの保育園を作るのにも億というお金がかかる。なかなか保育園を増やすということはそう簡単ではない。共働きの方を中心に、空き状況をみて仕事を探している方も入所できるよう取り計らってきている。なかの保育園、津志田保育園は希望者が多い。盛岡市でも多くの方がスムーズに入れるように枠を広げながら努力していく。

保 行事のときにDVDを撮影して皆さんにコピーしてあげた場合経費の面でどうか。希望者はどれくらいいるのか。

な だいたい40人ほどの需要がある。

な 段々と希望者が増えてきている。なかには祖父母にもあげるのと2枚購入される方

もいる。スタートしたばかりなので内容が分からないという方は、職員室でいつでも見れる。

保 保育園には非常に感謝している。子どもが沢山のことを覚えてきて楽しい。これからもよろしくお願ひしたい。

保 去年の4月からメールが2回しか届いていない。どうなっているのか。

な どうしてもうまくいかない家庭があって、なかなか実行できていない現状である。この件に関しても皆さんに報告がなされていなかったなので今後は周知徹底する。

ホームページは業者を頼めば良いが、事務の方で頑張っけて作りたいのももう少しお待ち下さい。

保 若い保護者が多いと思うので、現状とか、これからの情報などを数多く流して欲しい。

保 声掛けとかを多くするように心掛けて下さい。保育参観なども誘われたことがない。各クラスの連絡などは徹底して欲しい。

な これからも十分に注意をしていきたいと思う。

保 保護者としてみれば保育園があるから安心して働ける。民営化の問題は盛岡市の施策としての問題であり、民営化になって良かった悪かったは結果論である。親とすれば安心して子どもを預けられて、子どもが楽しく遊んでいるとすれば、基本的な条件はクリアしていると判断する。子供たちが満足していれば引き継ぎは上手くなされていると言っけて良いのでは。多少足りないところがあるのなら、先生方と保護者が協力しながら改善していく努力が必要だと思う。このような状況や財政上の成果については、三者懇談会や盛岡市のホームページに掲載するなどして、市民の目に触れさせることが必要ではないか。

保 今後の予定をお知らせ願ひたい。

市 1年、2年で切れるということではない。なかの保育園の子どもたちのためにと考えておりますので引き続き関わりを持っていきますが、お話の中で「盛岡市」はもういいのではというご意見もありますので、これからのことについては保護者の皆さんと協議して決めたいと思う。

市 本日はどうもありがとうございます。昨日も懇談会を開いており、そのなかでアンケート調査で出された意見、要望についての回答は保育園とも協議し、まとめたものを皆さんにお知らせするよう検討する。時期については少々時間をいただきたい。

市 これをもちまして第17回なかの保育園三者懇談会を終了させていただきます。